

ネットワークの大変革期を迎えて



常務執行役員
株式会社OKIネットワークス 社長

来住 晶介

OKIの通信事業の変遷

電話網の普及は、約100年かけて成熟するに至った。しかし、この電話網も1990年代に商用サービス化されたインターネット技術をベースに、大きくパラダイムシフトしている。OKIは、1990年代後半に普及の兆しを見せていたインターネットにおけるプロトコル（IP）技術にいち早く着目し、VoIP（Voice over IP）製品やCTI（Computer Telephony Integration）製品を開発してきた。また、2002年にはVoIP技術の普及促進のため、IP電話普及推進センター（IPTPC）を設立し、日本のVoIP市場拡大に貢献してきた。OKIの通信技術は、電話機の製造に端を発し、時代の先を常に読み取り、先端的な通信技術を軸に社会基盤となる市場分野で貢献し、現在のOKIの事業を支えてきた。

ネットワーク業界の大変革

インターネットの爆発的拡大に対応して、通信キャリアのインフラとして2008年3月に日本電信電話株式会社（NTT）がIP技術を用いた次世代ネットワーク（NGN）の商用サービスを開始した。また、2009年7月にはUQコミュニケーションズ株式会社がモバイルWiMAX技術によるモバイルブロードバンドサービスを開始した。これらの新たなネットワークサービスの登場により、ネットワークの業界は大きく変革してきている。たとえば、コンシューマ領域では音声中心であった電話サービスは映像と連携した高精細映像によるテレビ会議やVOD（Video on Demand）等の映像サービスが普及し始めている。その端末も固定設置の電話端末中心から携帯電話などモバイル端末となり、PC機能も取り込んだスマートフォンが普及し始めている。今後は、高度な情報端末としてのスマートフォンによるネットワークゲームや個人の嗜好に基づくニュース・映像配信、ポータブルなカーナビゲー

ション等のネットワークサービスが普及するものと考えられる。

また、企業におけるネットワークの利用形態も変化してきている。データセンターに設置した情報システムをクラウドコンピューティングなどの仮想化技術により、次世代ネットワークを経由し、多くの企業間でサービスとして共有するSaaS（Software as a Service）が登場している。SaaSにより企業のICTシステムは所有するだけでなく、賢く利用する形態に企業ユーザーの意識も変わってきている。また、企業のICTシステムを次世代ネットワークを介して遠隔地の支店や自宅から高精細なテレビ会議を用いて利用するテレワークシステムが普及し始めている。このようなシステムは、労働人口減少を補い、生産性を向上することへの期待から今後更に発展するだろう。

社会の要請という視点では、次世代ネットワークにおける省エネルギー、環境対策（ECO）もまた重要である。ネットワーク需要の増大により、ネットワーク機器の消費電力を抑制することは基より、効率的な電力利用のためのスマートグリッド（高度送電網）が注目されており、これを支えるネットワーク技術は今後更に重要になると考えられる。

OKIの取り組み

上記の認識の下、OKIでは通信部門が金融システムや情報システム等の各市場向けの事業部門および研究開発センターと連携し、全社において以下の取り組みを行っている（図1）。

(1) 通信部門のビジョン

通信部門では「ネットワークサービス基盤と先端ユニファイドコミュニケーションの提供により、自宅から職場までの快適なコミュニケーション環境の提供実現に貢

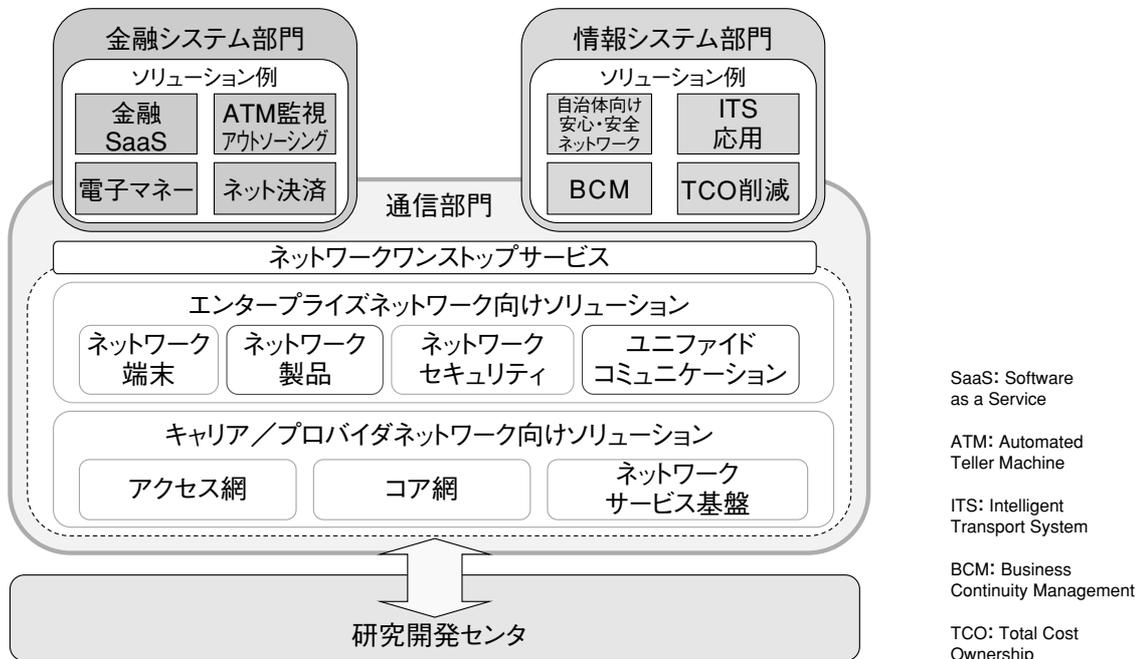


図1 OKIにおけるネットワークを活用したソリューション開発体制

献する。」ことをビジョンに掲げている。このビジョンの実現のために、次世代ネットワークと連携した先端ユニファイドコミュニケーションや更に将来のネットワークサービス基盤の構築に取り組んでいる。

(2) お客様向けソリューションのための取り組み

今後需要が更に増加すると予測されるネットワークを活用したソリューション開発について、金融部門、情報システム部門と通信部門の連携強化を図っている。たとえば、金融機関向けのSaaSによるサービス提供やデジタルデバイス解消のためのユニファイドコミュニケーション・サービスなどについて、部門を越えた連携を図っていく。また、これらのサービスを支えるべく、OKIグループ一体となってネットワーク関連プロダクトとサービスをワンストップで提供する体制を強化している。

(3) 中長期視点でのECOへの対応

今後重要となる省エネルギー化に向け、端末技術の開発、オフィスの省エネルギー制御について、研究開発センターも含め、中長期的な視点で研究開発に取り組んでいる。

本特集号では、これらのOKIの取り組みと関連ソリューションについて紹介する。OKIは、将来に亘り、日本だけでなく、世界の豊かな社会基盤を支えるために、高い信頼性と安全・安心なネットワークサービス基盤を今後も提供していく所存である。